

## 目次 -CONTENTS-

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <b>特集</b> 腫瘍センターの紹介・           |   |
| 高次画像診断センターの紹介                  | 1 |
| ● 特色ある診療内容・診療科・部門紹介ー成育医療科・女性科ー | 2 |
| ● 岐阜大学医学部附属病院 診療案内             | 3 |
| ● 診療費のカード払いについて                | 3 |
| ● 岐阜大学医学部附属病院の個人情報保護について       | 3 |
| ● 位置図・岐阜バス岐阜大学病院行き系統・路線図・      |   |
| 病院へのアクセス・病院駐車場のご案内             | 4 |
| ● 患者様へのサービスー医療連携センターの役割ー       | 5 |
| ● 食事の大切さー3ー                    | 6 |
| ● 患者様のご意見について                  | 6 |

## 病院の理念と基本方針

### あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

#### ● 基本方針 ●

1. 患者様中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 高度先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参加と連携強化を図ります。

## 特集1

### 腫瘍センターの紹介

腫瘍センター長

武田 純

平成18年度に岐阜大学医学部附属病院が「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されたことに基づき、平成19年1月1日付けで「腫瘍センター」が発足しました。県内のがん対策を一層充実させ、地域医療機関との連携のもとに総合的かつ計画的にがん診療を推進することを目的としています。本センターは3つの部門から構成されます。

- 1) 診療連携部門は、標準的治療、化学療法、緩和医療などに関することを担当し、地域がん診療の連携支援を行ないます。同じく新しく発足した「高次画像診断センター」とも連携し、地域のがん診断精度の向上も目指します。
- 2) 教育研修部門は、医師やコメディカルを対象としたがんの専門知識や技術修得のための研修や、県内がん診療連携拠点病院等に対する精度管理指導に関することを担当します。
- 3) 情報管理部門は、院内がん登録、がん診療に関わるクリニカルパスの整備、がん診療に関する普及啓発・情報提供など情報管理に関することを担当します。さらに、支援窓口を医療連携センター内に開設して一般のがん相談も受け付ける予定です。このようにセンターは高次の連携に基づいた新しいがん診療を目指します。

## 特集2

### 高次画像診断センターの紹介

高次画像診断センター長 兼松雅之

高次画像診断センターが平成19年1月1日付けで発足しました。構成はセンター長（併任：兼松雅之 助教授）1名、副センター長（併任：桐生拓司 講師）1名、画像診断部門長（併任：浅野隆彦 臨床講師）1名、診療放射線技術部門長（併任：衣斐賢司 技師長）の計4名であり、これを11名の放射線科画像診断医と32名の診療放射線技師が支援します。岐阜県における高度かつ先進的な画像診断の拠点として、主に多列検出器CT、超高磁場MRI、核医学診断装置、乳房X線撮影装置を用い、高精度な画像診断を日々提供することにより地域医療連携を推進することを使命としています。目的にあった画像診断検査を行い、14名の画像診断医（内10名は放射線科専門医）が高水準の専門性をもって迅速に読影にあたり、詳細かつ解りやすい画像診断報告書を提供します。医療連携センターを介して、緊急検査、医師の画像診断に関するご相談にも対応します。平成19年4月からは3テスラMRI装置、11月からはPET-CT装置を用いた地域医療連携を開始する見込みです。また、画像診断に関する生涯学習を目的とした集約的で解りやすい定例セミナーを、患者様をご紹介頂いた先生方と共に開催することを計画しています。

## 特色ある診療内容：診療科・部門紹介

### － 成育医療科・女性科 －

成育医療科・女性科は、女性のライフサイクルと密接に関係のある診療科です。近年、女性のライフサイクルは大きく変化しました。当科ではこういった変化しつつある女性の生涯を通してのあらゆる悩みに対処できるよう、きめこまやかで、かつ高度の診療をめざしています。

#### ▶ 周産期医療

周産期医学とは分娩を中心に、妊娠中から出生後の新生児管理に至るまでの診療のことです。当院では7名の女医を含む約15名の医師が待機しており、母体合併症の場合や、精査の必要な児においては、当院内科や小児科といった他科と連携を取りながら、慎重に経過を診させて頂いております。

妊娠分娩管理が近代化された現在でも、分娩は女性や赤ちゃんにとって命を賭けた大仕事です。いざというときには、短時間で帝王切開に切り替えられる体制を取っており、安全に分娩していただける施設です。出産の際には、一緒に分娩に参加して頂く「立ち会い分娩」をお勧めしています。生涯に残る感動を体験して頂けるようお手伝いします。ご希望に応じて分娩から産後までゆっくりと過ごせるLDRルームでの分娩も可能です。看護スタッフは助産師16名、看護師5名が交代でお世話いたします。

妊娠期からの相談、バースプラン(分娩、育児への希望)の確認、育児プランを尊重した授乳支援、毎日の乳房マッサージ、母乳外来などお一人お一人の希望を伺いながら、不安なく育児ができるようお手伝いします。

少子化の影響もあり、現在は分娩数は少ない状況ですが、当院では正常な分娩も受け入れており、安全とケアの質をアピールして分娩数を増やせるよう努力しています。



#### ▶ 婦人科腫瘍

悪性腫瘍を中心に、正確な病理診断と超音波、MRI、CTなどによる画像診断を用いて詳細な術前評価と個別化された治療を行っています。婦人科癌治療の将来的な展望は、多くは他のがん治療と共通するものですが、根拠に基づいた標準治療と先端的治療の区別を徹底することと、新たな治療の開発であり、それらを実現する努力をしています。

#### ▶ 生殖医療

不妊症、排卵障害の治療には西洋医学的方法ばかりでなく、漢方治療を含めた東洋医学的アプローチも積極的に取り入れています。不妊症治療では、適切な治療方針に従い、体外受精も施行しています。受精困難例には顕微受精も行っています。

#### ▶ 女性外来

女性に起こるさまざまな病気だけでなく、思春期、性成熟期、更年期、閉経後におこる女性の生理的な問題、健康管理について対処していける体制を整えております。予約制で経験豊富な女性医師が対応いたします。

#### < 当科における臨床と研究との関連 >

研究においては、女性の生理的変化がいかに全身的、局所的に調節され、またそのコントロールの不具合と癌などの種々の病態との関連を、分子生物学的アプローチを含むさまざまな方法を用いて基礎的、臨床的に解明することを目的としています。

さらにその臨床応用としての癌の予防、診断・治療の進歩をめざす臨床的研究を行っています。



## ●外来診察日一覧

凡例 △：初診・再診 ○：初診 △：再診 休：休診

| 診療科(臓器別名)   |                   | 月                        | 火                        | 水 | 木 | 金                        |
|-------------|-------------------|--------------------------|--------------------------|---|---|--------------------------|
| 内科          | 消化器内科             | △                        | ○                        | △ | △ | △                        |
|             | 循環器科              | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 腎臓内科              | ○                        | △                        | △ | 休 | △                        |
|             | 呼吸器科              | △                        | △                        | △ | 休 | △                        |
|             | 血液・感染症内科          | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 東洋医学              | △<br><small>午後のみ</small> | ○<br><small>午前のみ</small> | △ | △ | ○<br><small>午後のみ</small> |
|             | 糖尿病代謝内科           | ○                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 免疫・内分泌内科          | ○                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 外科          | 神経内科・老年科          | △                        | △                        | △ | 休 | △                        |
|             | 心臓血管外科            | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 呼吸器外科             | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 消化器外科             | △                        | ○                        | △ | △ | △                        |
|             | 乳腺外科              | △                        | ○                        | △ | △ | △                        |
|             | 甲状腺外科             | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 腎移植外科             | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
|             | 成育医療科・女性科(産科・婦人科) | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 整形外科        |                   | 休                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 脳神経外科       |                   | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 眼科          |                   | △                        | △                        | 休 | △ | △                        |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 |                   | △                        | △                        | 休 | △ | ○                        |
| 皮膚科         |                   | △                        | 休                        | △ | ○ | △                        |
| 泌尿器科        |                   | ○                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 精神神経科       |                   | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 小児科         |                   | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 放射線科        |                   | △                        | △                        | △ | △ | △                        |
| 麻酔科・疼痛治療科   |                   | △                        | △                        | 休 | △ | △                        |
| 歯科口腔外科      |                   | △                        | △                        | △ | ○ | △                        |
| 総合診療部       |                   | △                        | △                        | △ | △ | △                        |

※診察日は、変更する場合がありますのでご了承ください。

### 受付時間/診察開始時間/休診日/面会時間

初・再診受付：8：30～11：00

診察開始時間：9：00～

休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

面会時間：10：00～21：00

## ●外来受診の方法

◇初診の患者様は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。

◇再診の患者様で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しください。

◇予約のある患者様は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しください。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。

受付完了後は、各診療科診察室前でお待ちください。

◇各診療科診察室前の大型のディスプレイに、患者様の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

## ●予約診療

◇当病院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次回の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者様と相談の上、次回の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。

◇次回予約がなくて、再度診察を希望される場合は、予約センター(058-230-6123～6125)にお電話いただき、診療予約を取っていただくこととなります。

◇予約がなくても、直接来院されて、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約はできません。

## 診療費のカード払いについて

1 平成19年1月より診療費のお支払いが、下記のクレジットカードをご利用できます。

DC、UFJ、NICOS、VISA、Master、JCBの各種カード

1階ホールの自動支払機で取扱っています。窓口でのお取扱いはできません。

利用時間は、平日の9時から17時まで。(時間外及び土日祝祭日はご利用できませんのでご了承ください。)

ご利用の際には、「診察券」が必要です。

2 お支払は、すべて「1回払い」のみの取扱いとなります。(分割/リボ払いはできませんので、ご了承ください。)

3 ご利用の際には、事前に「暗証番号」、「ご利用限度額」のご確認をお願いします。

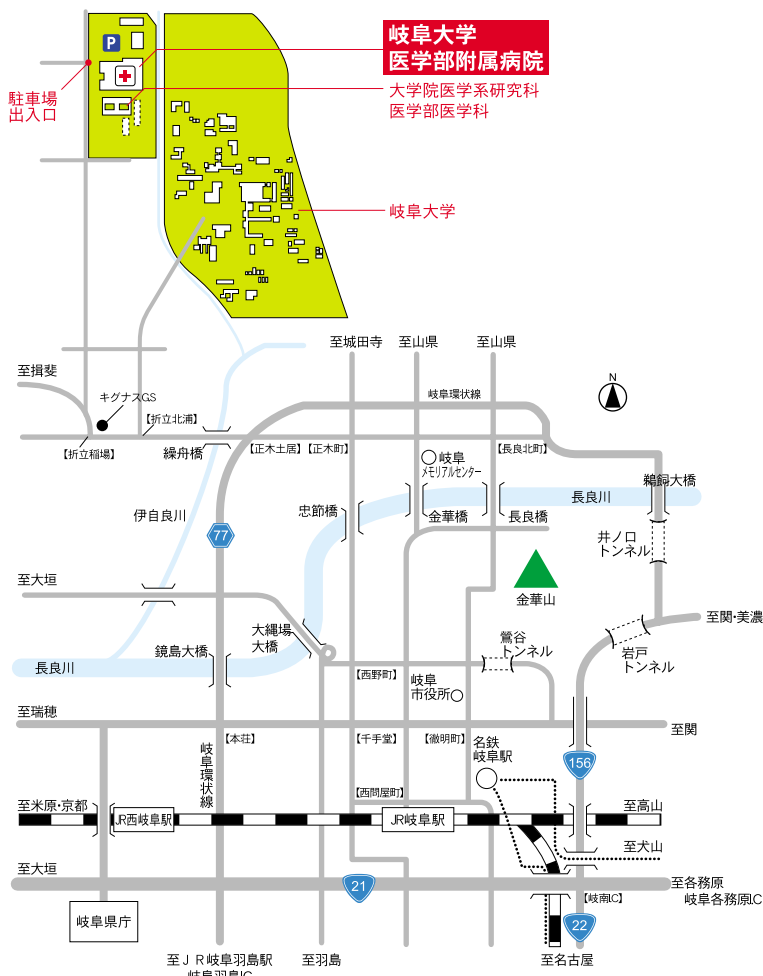
クレジットカードの裏面に各カード発行会社名及び連絡先/電話番号が記載されていますので、お問合せください。

## 岐阜大学医学部附属病院の個人情報保護について

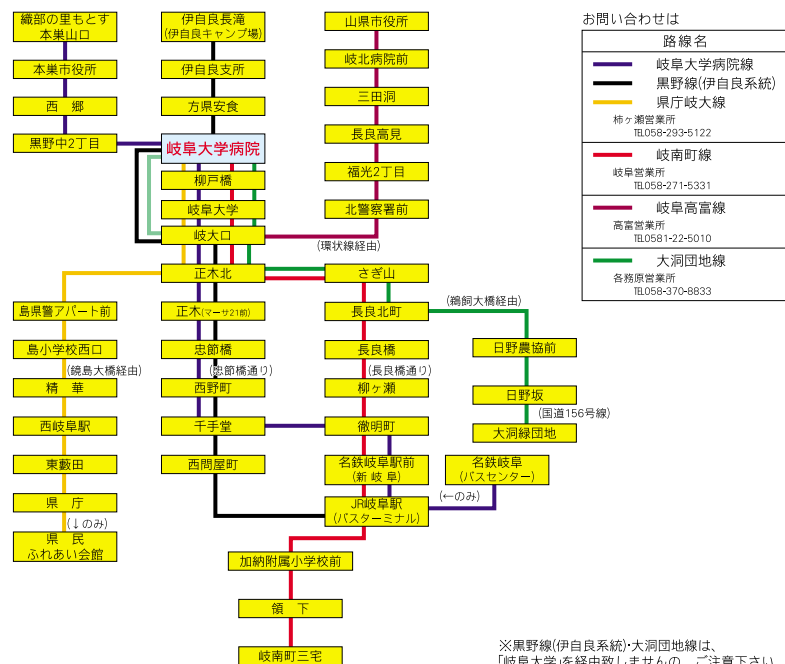
当病院では、患者様が診療をお受けになることに伴い、診療に関する記録を作成・保存しておりますが、この記録には患者様の個人的情報が多く含まれています。この取扱いについては、平成16年4月に「個人情報保護方針」を宣言し、これによる院内規程等を整備し、患者様の個人情報の適正な取扱いについて院内への周知徹底を図っています。

つきましては、当病院における患者様の貴重な個人情報を含む記録を、医療機関として、また、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたく、患者様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ●位置図



## ●岐阜バス岐阜大学病院 系統・路線図



## ●病院へのアクセス

### ◇鉄道をご利用の方

JR東海道線で「岐阜駅」下車  
名古屋鉄道名鉄本線で「名鉄岐阜駅」下車

### ◇バスをご利用の方

#### 岐阜バス

岐阜大学病院線・岐南町線で「名鉄岐阜駅前、JR岐阜駅」乗車、岐阜大学病院下車 所要時間30~40分  
(運賃：名鉄岐阜・岐阜駅から310円)

### ◇タクシーをご利用の方

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から約20分  
(約3,000円)

## ●病院駐車場のご案内

本院では、約500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

### 【駐車整理料金等】

○外来患者様：受診日当日……………**無料**

○入院患者様：入・退院日当日………**無料**

「会計窓口等」で駐車整理券を提示し、受診されたことの確認を受けてください。

### 確認の時間・場所

- ・平日8時30分~17時15分 (1階会計窓口)
- ・その他の時間 (1階夜間受付)

○一般外来者(面会・お見舞い・付き添い・ほか)

・入構から30分まで……………**無料**

・入構から30分を超え90分まで………**200円**

90分を超えたら1時間ごとに100円を加算。  
ただし、その額が500円を超えることとなる場合は500円

・入構から24時間を超える場合………**500円**  
に24時間までごとに500円を加算した額

なお、入院中に駐車されている場合(入・退院日当日を除く。)は、1日あたり500円の駐車整理料金をお支払いいただくことになります。

### (ご注意)

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサブ(I C)カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、あらかじめご用意願います。(1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。)



病院広報 鵜舟第9号

平成19年2月発行

発行／岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会  
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL(058)230-6000(代表)

岐阜大学医学部附属病院ホームページアドレス <http://hosp.gifu-u.ac.jp>

## 医療連携センターの役割



医療連携センター長  
武田 純

岐阜大学医学部附属病院は平成16年に柳戸地区に移転し、特定機能病院として高度先進医療の開発と地域での実践を担ってきました。新病院の特徴として、完全電子カルテ化があります。診療をスピーディに行なうこと、診療情報を統合的に扱うことなどが可能となり、その結果として、診療科を超えて高度医療を分かりやすく地域に提供できる未来型の総合病院に生まれ変わりました。その一方で、患者さんや家族の方々、さらには地域が抱える様々な医療福祉問題の大切さを認識し、これらに対する支援活動も積極的に行なってきました。

医療連携センターは、看護、検査、服薬、栄養などの医療相談、退院・転院や療養・介護生活などに関する医療福祉相談、医療費や生活費などの経済的問題の相談、女性専門相談やこころの相談など（下表）を中心に担当し、院内のみならず地域にも開かれた窓口を担っています。さらに、センター内の地域医療連携室では、患者さんが満足できる医療を円滑に提供できるように、紹介医やかかりつけ医、訪問看護ステーションなど地域医療機関との密接な連携を図るために退院調整看護師が調整を果たしています。

平成17年9月に本院は「難病医療連携拠点病院」に指定されました。難病医療に関する啓発と連携支援は拠点病院の大切な業務です。続いて、「都道府県がん診療連携拠点病院」にも指定されました。本制度は議員立法で成立したがん対策基本法の趣旨に基づいており、がん登録による調査、がん診療の均てん化などに加え、がん患者さんのサイドに立った医療支援に重きが置かれています。拠点業務の中心として、本年1月に本院に腫瘍センターが発足し、緩和医療、がん相談、情報支援など新たな機能が編成されています。

本院ではもう一つの新たなセンターとして、地域医療の画像診断ニーズに医師直結システムで対応するために、「高次画像診断センター」が設立されました。本センターでは種々のがん診断が業務の主たる部分を占めることから、腫瘍センターの診療部門と連携することになります。このように多様な連携状況から、大学病院と地域医療ネットワークをリンクさせる窓口の統合と管理システムが必要となり、本年1月に「医療福祉支援センター」は新たに「医療連携センター」に改組されました。従来の医療福祉支援の業務に加えて、院内の診療科の機能情報を統合させて提供すると共に、地域医療の充実のために病診連携の強化と新機能の遂行を当センターは担当します。医療がスムーズに流れるように、連携プログラムは地域の要望に従い常に更新されますので、医療の質の向上に対しご協力下さるようお願いいたします。

| 相談内容   | 相談時間等                    | 相談内容等                                        |
|--------|--------------------------|----------------------------------------------|
| 医療相談   | 8:30～12:00               | 通院中・入院中の患者様とご家族の医療に関する相談                     |
| 女性専門相談 | 予約制<br>(月曜日の14:00～16:00) | 女性医療スタッフによる健康相談                              |
| こころの相談 | 予約制                      | 療養に関する心理的・社会的な相談                             |
| 看護相談   | 13:00～16:00              | 患者様とご家族の療養についての相談、在宅看護・退院に伴う相談               |
| 臨床検査相談 | 13:00～16:00              | 検査に伴う各種の情報提供支援                               |
| 服薬相談   | 13:00～16:00              | くすりに関する情報提供と服薬相談                             |
| 栄養相談   | 13:00～16:00              | 生活習慣病予防などの食事に関する支援                           |
| 医療福祉相談 | 8:30～16:00               | 医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談<br>療養生活、転院、退院に伴う相談 |
| 医事相談   | 8:30～17:00               | 公費負担相談、各種証明書などに関する申請手続きの相談                   |
| 苦情、要望等 | 8:30～17:00               | 診療についての苦情、要望等の受付                             |

医療連携センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

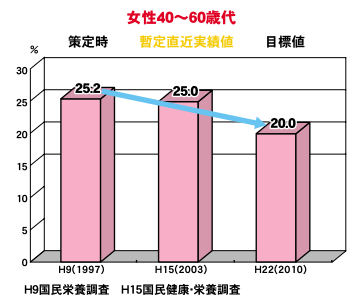
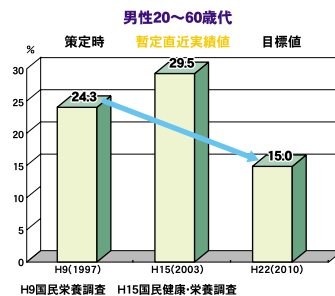
「健康日本21」って知っていますか。厚生労働省では、2000年（平成12年）から2010年度を目標として、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目標として、健康寿命や生活の質の向上等を目的とする「21世紀における国民健康づくり運動」を開始しました。内容は、栄養・食事、身体活動・運動など9分野70項目にわたる具体的な目標を示し、食生活や運動などの生活習慣の見直しによるがん、脳卒中、心臓病、糖尿病などの生活習慣病の予防をより一層推進するとともに、一人ひとりの積極的な健康づくりを推進するものです。しかし、中間報告をみて「びっくり」という結果がでました。肥満者の現状、朝食の欠食、運動の推進などどれをとっても惨憺たる現状でした。このままでは生活習慣病の増加に拍車がかかるとともに国民医療費の増加も避けることができない状態です。

この現状の中、新たに「メタボリックシンドローム」という概念を導入して対応することとなりました。皆さんもこの言葉は今や日々テレビ・新聞等、各種メディアから流れない日がない状態です。メタボリックとは「代謝」を、シンドロームとは症候群（医学用語で、同時に発生した一連の症状を総括的に表す名称）です。過食や運動不足から脂肪が皮下脂肪だけではなく内臓に蓄積していく状態をいい、この内臓脂肪蓄積を出発点として、糖尿病、高血圧症、高脂血症、動脈硬化から冠動脈疾患（心臓病）を経て死に至らしめるという病態をいいます。

チェック1：男性85cm、女性90cmのウエスト長は要注意

チェック2：空腹時血糖110mg/dl、中性脂肪（トリグリセライド）150mg/dlあるいはHDL 40mg/dl以下、収縮期血圧130mmHg以上あるいは拡張期血圧85mmHg以上

チェック1でチェック2が2項目あるとメタボリックシンドロームです。また、チェック2が1つ該当する人はその予備軍にあたります。さあ、ご自分を診断してみてください。



## >>患者様のご意見について

さわやかサービス委員会

●入院患者様より、病棟に備え付けの家具について、長期入院者には狭すぎてあまり物が保管できない。

ついては、テレビの上部スペースを物置として利用できないか？ とのご指摘。—ご意見の中から—

（回答）調査の結果、壁が棚の増設を前提とした補強が施されていないため、構造基準上これ以上の家具の取り付けは出来かねます。また、吊り棚等のご提案もございましたが、空中は固定棚よりより安全面で問題があり、不可能との結論に至りました。今後、ご要望に対する方策を模索してまいりたいと思います。

### 看護師さん大募集中！ ＜常勤・パートタイマー＞

＊年齢 40歳代まで  
＊勤務形態・配置場所・採用日など相談に応じます。  
＊ライフスタイルに合わせてご相談ください。  
＊いろいろな経歴のナースが友好的に仕事をしています。  
パート看護助手も募集中！  
病院見学及び詳細の説明をご希望の方は下記へご連絡ください。  
電話：058-230-6000(代表)  
人事係あるいは看護部事務室へ

### 知識・技術を豊かに育みます。 初期臨床研修医 募集！！ 後期臨床研修医

医師としての第一歩を当院でスタートさせ、地域医療に貢献しませんか？  
詳細は下記まで

岐阜大学医学部附属病院 総務課 人事係  
TEL：058-230-6055  
E-mail：gjha01007@jim.gifu-u.ac.jp